パブリック・コメントの実施結果について

１　パブリック・コメントの実施結果について

⑴　**実施した政策等**　養老線交通圏地域公共交通計画（素案）

⑵　**実施期間**　**令和8年6月22日（月）～令和8年7月21日（火）**

⑶　**意見提出者数**　**3人**

⑷　**意見提出件数**　**8件**

２　養老線交通圏地域公共交通計画(素案)に係る意見の概要等について

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
1	新型車両によるスピードアップを図るには線路改修等の費用がかさむため、実現は次期計画の案件（先の話）になるのではないか。 しかし、新車両の導入は利用者にとって大変ありがたいことで、関係各位が存続に向けて前向きに取り組んでいただけていることに、一安心したところです。	P.44「施策Ⅰ-2 安全性、快適性の向上」において、実施予定事業として、「① 新型車両による車両更新」、「② 鉄道施設の強靭化」を掲げています。 スピードアップの基盤となる線路改修等の設備改良費用や効果については、事業者が先進事例を参考にしつつ、情報収集をしてまいります。
2	駅舎のある無人駅（石津駅等）を、子どもの学び舎や高齢者・外国人を含む地域の居場所として開放してほしい。NPOや高校生・社会人が関わることで、次の効果が期待できます。 ① 高齢者の孤立を防げる ② 実態として、行き場のない中高生の居場所ができる ③ 待合室で、待ち時間に人々の交流が生まれる ④ 外国人ともつながる「草の根多文化共生」の入り口になる ⑤ 年齢層幅広いコミュニティの可能性が広がる ⑥ 市民主催のマルシェやワークショップを開催できる	市内において駅舎のある無人駅は石津駅のみですが、同駅舎内の空きスペースにつきましては、改札内にあるため、地域の方々の居場所として開放することは困難と考えております。

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
	⑦ 書店の代わりに、シェアブックスペースを兼ねることができる	
3	美濃津屋駅～駒野駅間の湖池屋工場付近に新駅の設置を提案する。この新駅は、利用者の少ない昼間時間帯の活性化を図るため、湖池屋の工場見学などとタイアップし、集客増を目指す。また、将来的に城山小学校と統合が見込まれる下多度小学校の児童の利用も視野に入れ、地域住民の利便性向上と利用促進を図ってはどうか。	P47.「施策Ⅱ-2 新規利用者の確保に向けた新駅の設置」において、実施予定事業として、「①新規利用者の確保が見込まれるエリアにおける新駅の設置」を掲げています。 新規利用者が見込まれる地域への新駅の設置を検討してまいります。
4	一回のイベント実施よりも、各駅へ無料駐車場を設置・増設する方が（日常的な）乗客増加に繋がると思われるため、駐車場の増設を希望する。	P.48「施策Ⅱ-3 駅周辺におけるにぎわいの創出」、P.53「施策Ⅲ-4 交通結節点の機能強化」において、実施予定事業として、「① 駅周辺の施設整備」、「① パークアンドライド用駐車場等の整備」を掲げています。 各駅周辺の土地活用及び情報発信方法については、沿線市町等による駐輪場や駐車場、自習室の整備、季節感を演出したイベント等、地域ニーズに応じた活用を進めてまいります。
5	下多度小校区は養老線が通り駅周辺に土地があるため、美濃津屋駅近辺に内科・整形外科・眼科などの様々な医療機関を集め、駅から直結するように整備してほしい。市内や鉄道を利用する近隣住民･高齢者が1日で複数の病院を回れることで付き添う側の負担軽減になり、買い物ができる店ができればなお良い。	
6	朝夕に駒野駅などへ大垣方面の高校生を車で送迎している保護者が多い。親の負担の軽減するため、通勤・通学専用バスを特別に走らせることを一考してほしい。	P50.「施策Ⅲ-1 バス路線の再編」において、「① バスルートの見直し等」を掲げています。 駒野駅を起終点とするコミュニティバスのダイヤ改正等を検討し、通勤・通学時間帯の利便性向上を図ってまいります。

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
7	養老山脈には軽登山に適した山がいくつかあるため、登山客を呼び込めるよう登山道のルートを整備してほしい。	登山道の整備は、本計画の対象範囲外であるため、本計画書への記載は困難と考えます。 なお、P.54「施策Ⅳ-1 観光資源等との共創による養老線の活用」において、実施予定事業として、「① 観光資源を活用した周遊イベントの実施」、「② 企画列車の運行・記念切符の販売」、「③ 新たな観光ニーズの掘り起こし（インバウンド対応等）」を掲げています。 これまで鉄道の利用機会が少なかった方々も含め、新たな利用者の確保に向けて、多様な関係者と連携してまいります。
8	南北に広い沿線地域において、子どもたちへの支援が部分的で、子育てがしにくい状況があります。塾がない・遠い、福祉会館「ゆとりの森」の学習会にも参加しにくいといった状況を改善するため、身近に通える学習支援の場を設けてほしい。 あわせて、NPOや高校生・社会人が程よく関わることで、子どもたちや若者の起業・キャリア教育にも紐づく取組みとしてほしい。	学習支援の場の設置は、本計画の対象範囲外であるため、本計画書への記載は困難と考えます。 なお、P.56「施策Ⅳ-3 養老線を支援する団体等との協働」に沿って、事業者等との協議に加え、NPO法人や地域住民等の様々な関係者と連携・協議しながら、検討してまいります。